

・・・スポーツの結果・・・

第23回両津地区バドミントン大会

3月4日

A級 1位 片野尾A
B級 1位 河崎

小木ナイターバドミントンリーグ戦大会

2月16日、3月7日

Aリーグ 1位 Oasis
Bリーグ 1位 はねもんず

第32回全佐渡少年柔道大会

3月18日

団体戦

1位 佐渡中央柔道教室A

個人戦

(園児の部)

1位 中川 友暉(真野)

(低学年の部)

男子 1位 堀川 大貴(両尾小)
女子 1位 仙土 葉月(中央)

(中学年の部)

男子 1位 仲間 巧(佐和田)
女子 1位 菊池 杏奈(両津小)

(高学年の部)

男子 1位 相田 健人(中央)
女子 1位 石川 榛那(両津小)

第22回 佐渡朱鷺健康マラソン

3月11日

10キロの部 男
1位 中川 昌弘

10キロの部 女
1位 計良 百代

5キロの部 男
1位 安達 健人

5キロの部 女
1位 加藤 祐子

3キロの部
1位 岩崎 春采



【大会開催のお知らせ】

小木インディアカ大会

4月20日(金) 午後7時

場所 小木B&G海洋センター

参加料は無料です

第14回 小木グラウンドゴルフ大会

4月29日(日) 午後2時

場所 小木城山公園

参加料は無料です

インディアカ大会・グラウンドゴルフ大会とも
お問い合わせは
教育事務所小木出張所 小木B&G海洋セン

ターへ ☎86 2142

「国土交通大臣杯」第20回全国・離島交流ゲートボール親善大会

ゲートボールを通じた競技交流と親善交流のため、
全国大会を開催します。

6月1日～3日 開催

参加選手にみなさんのあたたかいご声援をお願いします。

開催日程		
6月1日(金)	14:00～ 受付・代表者会議 16:30～ 歓迎式典	両津文化会館
6月2日(土)	8:30～ 開会式 10:00～ 予選リーグ	両津野球場・運動広場
6月3日(日)	8:30～ 予選リーグ 12:30～ 決勝トーナメント	両津野球場・運動広場

お問い合わせ 市役所 企画振興課 ☎63-4152

5月27日は 佐渡國鬼太鼓どっこむ

伝統芸能と佐渡のおいしい味をお楽しみください。

日時 5月27日(日) 9:00～16:00
場所 おんでこドーム(両津港みなと中央公園)
主催 佐渡國鬼太鼓どっこむ実行委員会
お問い合わせ 両津商工会 ☎27-5128



おわびと訂正

市報さと3月号(19ページ)大会の結果にお名前の間違ひがありました。正しくは次のとおりです。

第29回少年少女卓球大会
5・6年生の部 優勝
川原 花菜



相川 にぎわったひなまつり 2月24日～3月18日



「佐渡國相川ひなまつり」が開催され、島内外から7000人の方々が訪れました。

このまつりは「相川花の会」が、それぞれの家庭に眠っているおひなさまを展示し、市民や観光客に見ていただくこと、2年前から始めたもので、花の会の会長・森恵子さんは「このような手作りのイベントを観光に結びつけ、おもてなしをすることが、これからの観光客の増加につながり、地域の活性化が図れるのではないのでしょうか」と話していました。

赤泊 59年の歴史に幕 赤泊分校閉校式典 3月3日

郷土芸能クラブのイラストイジ



羽茂高校赤泊分校の閉校式典が行われました。式典には卒業生、元職員など300人余りが思い出深い校舎に集まり、閉校を惜しみました。

式典後には、1日に卒業式を迎えた生徒らによる最後の郷土芸能が披露され、会場からは惜しみない拍手が送られました。中には涙ぐむ出席者も見られ、心に残る閉校式典となりました。

小木 南佐渡地区沿岸防犯協力会発足!! 2月27日



「不法侵入は許さない」誓いの防犯キャップ

佐渡市沿岸防犯組織の充実強化のため、南佐渡地区沿岸防犯協力会が設立されました。

会長の木村さんは「会員数が400名から1,000名以上となり、南佐渡沿岸における水難事故、

危険物の漂流・漂着の早期発見と予防に取り組み、関係団体と連携を図り、平穏で安全な地域社会づくりに貢献していきたい」と決意を述べました。

四方を海に囲まれた佐渡では、「水際の予防」は、市民一人ひとりが注意喚起し、自ら安全を確保するひとつの手段であると思います。住民の皆さんと一致団結して、安全・安心な佐渡を創りあげていけますよう、ご協力をお願いします。

佐和田 佐和田海岸に緑の空間! 3月17日



ボランティアネットワーク主催の松の植樹が、佐和田海岸で行われました。これは佐和田婦人会が「にいがた緑の百年物語緑化推進委員会」に申請し、クロマツ774本の補助をもらい行われたものです。

雪がちらつき、強い風が吹く中、40名余りの人が集まって作業を行い、直径5メートル、6メートル、7メートルの小さな松林が3つでき上がりました。

植えたばかりの松たちの、これからの成長が楽しみです。

真野 家内安全・豊作祈願 『倉谷の大わらじ』づくり 3月4日



春を告げる倉谷地区の「大わらじ」づくりが地元青年団により行われました。用意した50束のワラは、まず、柔らかくするため、機械に通して叩きます。その後、編み始めは大変難しく、ほどけないようワラをよじるのに力が必要で、皆で協力して取り組んでいました。

できあがった大わらじは、地区の出入口2か所に飾られて、温かく地域の人々を見守りつづけます。



新 穂

満開の桜がお待ちしています。 「新穂ダム桜まつり」今年も開催します!



4月22日(日)10:00~15:00 新穂ダム周辺

2千本の桜と、湖面を泳ぐ150匹の鯉のぼりでおなじみです。また最高級の佐渡牛が試食できる、佐渡牛肉まつりも同時開催!(肉がなくなり次第終了)

お問い合わせ 新穂イベント実行協議会(新穂商工会内)
☎22-2166

桜を背景に湖面を泳ぐ150匹の鯉のぼり(昨年の様子)

大きく育てて帰ってきてね

両
津

梅津保育園児がサケの稚魚放流

3月20日



椿地区の椿川で、梅津保育園児によるサケの稚魚放流が行われました。当日は、市の水産課指導員から、サケについてのわかりやすい説明を聞いた後、各々がバケツを手に取り約1000匹の稚魚を椿川に放流しました。園児たちは、普段あまり見ることのないサケの稚魚に興味津々で、楽しそうに放流していきま

した。園児たちは、普段あまり見ることのないサケの稚魚に興味津々で、楽しそうに放流していきま

した。園児たちは、普段あまり見ることのないサケの稚魚に興味津々で、楽しそうに放流していきま

した。園児たちは、普段あまり見ることのないサケの稚魚に興味津々で、楽しそうに放流していきま

金
井

藤津川でサケの放流大会

3月18日



金井地区の地域おこしグループ「平泉ぜいご宿」の主催で、第11回鮭放流大会が行われました。集まった子どもたちは、「元気でね」などと声をかけながら、体長5センチほどのサケの稚魚を藤津川に放しました。この日放流された1万匹のサケは、オホーツク海周辺まで約4万キロの旅に出ます。一匹でも多くふるさとの川に帰ってくるような環境づくりが大切です。

この日放流された1万匹のサケは、オホーツク海周辺まで約4万キロの旅に出ます。一匹でも多くふるさとの川に帰ってくるような環境づくりが大切です。

畑
野

お買い物はマイバッグで!

マイバックキャンペーン 3月20日



Aコープ畑野支店前にて「レジ袋ゼロ運動」をPRする、マイバックキャンペーンが実施されました。地元婦人会、消費者協会などが、啓発チラシやマイバックなどを訪れた買い物客へ配り、レジ袋の削減とマイバックの利用を呼びかけました。

羽
茂

孤篷遠州流免許授与式

3月18日

羽茂地区公民館で孤篷遠州流生花保存会の免許授与式が開催されました。孤篷遠州流生花は、主に自然に生えている草木を生けることが特徴の流派で、市の無形文化財になっています。今回の免許授与式では免許皆伝者、中伝者、初伝者あわせて9名が、長期にわたる修練の成果として、新たに免許を受けました。

羽茂地区以外の会員も増えており、佐渡の文化としてより一層の発展が期待されます。





首都圏情報コーナー

第29回首都圏佐渡金井会 開催

2月4日、新宿区信濃町の「ジョン万次郎アトレ信濃町店」において、113名の参加者を得て第29回首都圏佐渡金井会の総会と懇親会を開催しました。昨年までは郷土旧金井町の青年団による鬼太鼓の出演を依頼してきましたが、予算の関係で今年はなし。その代わり魚介類など佐渡の旬の食材をたくさん使った郷土料理を嗜好して頂くことを企画しました。

総会では18年度の活動報告と19年度の事業計画の説明が行われました。金井地区の田中文夫議員、大場慶親議員、そして佐渡市産業観光部の児玉剛副部長が荒天による佐渡汽船の欠航にもかかわらず、ご出席賜り、佐渡市の近況報告をしていただきました。池田正雄会長の今総会での退任に伴い、新会長として近藤正栄(金井新保出身・神奈川大学名誉教授)氏が選出されました。

千種の浄土真宗得勝寺の本荘一治住職による「現代世相を仏教はどう観るか」の講演を聴講、その後、引き続きの懇親会では寒ブリの解体ショー、21世紀おけさアート

の会による佐渡おけさ踊りがあり、参加者全員が十分に故郷の香りを満喫しながら閉会となりました。

佐渡金井会事務局長
池 登志邦



池田前会長へ花束贈呈

輝かしい歴史に幕 4つの小学校が開校

岩首小学校、野浦小学校、片野尾小学校、馬首小学校が平成19年3月31日をもって閉校するにあたり閉校式が行われました。岩首小学校の卓球、野浦小学校の器楽演奏・伝統芸能、片野尾小学校の歌舞伎、馬首小学校の全校登山など、地域の皆様の温かなご支援に支えられ、それぞれの学校で特徴ある教育が行われてきました。閉校式では、在校生によるお別れのことばの後、校旗が返納され、児童、保護者、卒業生、地域の方々それぞれのお別れ胸に母校をしのんでいました。

4月からは馬首小学校は加茂小学校に統合し、岩首小学校、野浦小学校、片野尾小学校は統合して前浜小学校となり、それぞれ新たな歴史を刻むこととなります。



校旗返納(岩首小学校)



会場の様子(野浦小学校)



記念碑除幕式(片野尾小学校)



お別れのことば(馬首小学校)

随想

ゆき夢飛行

佐渡市長 高野宏一郎

No.11

3月10日に、野浦小学校の閉校式が行われました。4月から片野尾小学校・岩首小学校と統合されることになったものです。前浜地区は長らく少子化に苦しみ、長い海岸線に点在する13の集落が小学校統合の話し合いを続けていましたが、新たにこの野浦小学校を前浜小学校と改名して2校が加わり、30名の生徒で新たな出発をいたします。それに伴い、片野尾小学校では3月17日、岩首小学校では3月18日に閉校式が開催されました。前浜地区はそれぞれ地域を挙げて芸能教育など個性のある教育で他を圧する存在でした。

3月11日には、雪の舞う中で馬首小学校の閉校式が行われました。7人の子供たちがこのままだと新年度にはわずか3名になるという危機的な状況を打開するため、新年度からは加茂小学校への統合となるものです。最盛期には250名の在校生がいたのですから、隔世の感がいたします。これら特色のある学校が消えていくことは、誠にさびしいことです。

ところが佐渡の出生数は一昨年、昨年と上向きに転じはじめました。国・県も一転、少子化対策に取り組み始めましたし、佐渡市も合併以来、県内一安い保育料、いち早い就学年齢までの医療費無料化、延長保育、学童保育の充実等々、産んで育てやすい環境づくりに努力しています。新年度は大幅増の予算を組みました。今後も非婚化の解消、育児支援、教育支援、雇用の確保、福祉介護の支援と、一生涯を通じて住みやすい地域づくりに取り組みます。

